

ひよこ通信

ひよこの会会報 令和4年8月号

発行 八千代心身障害児者父母の会(ひよこの会)
〒276-0044 千葉県八千代市萱田町542-81
電話 & Fax 047-450-9144
発行人 会長 吉野真里子、編集 会報編集委員会

◇新型コロナウイルスの感染の影響

令和2(2020)年当初からの新型コロナウイルス蔓延による影響は計り知れないものがあります。

障害を抱える当事者は、今まで築き上げてきた生活のパターンは壊され、保護者も、またそれぞれの家庭でも変化を余儀なくされたと思います。

「にじと風」では、独自に感染対策をしたものの感染から無傷とはいえ三度の施設閉所を余儀なくされました。このため、「にじと風」から他の施設に利用を変更された方もおられます。施設閉所は短期間ではありましたが、利用者のニーズに応えきれなかった、一方施設での感染拡大には至らずに済んでいます。

また施設閉所に伴う助成は、緊急事態宣言下と重なったときに公的助成制度の該当がりましたが、100%のコストカバーには程遠く、ここで発生した赤字を引き摺っています。

八千代心身障害児者父母の会(ひよこの会)は、NPO法人にじと風福祉会の活動を全面的に応援しています



◇コロナ禍で障害を抱える子をもつ親たちの体験

“よかネットあいち”が家族や支援者の声を集めたアンケート(2022年2月調査)からわかったことを下記に。更に皆さんが体験されたことと併せ、これから何を学び、どう乗り越えるか。

- ・ シングルのお宅も多い。
- ・ きょうだいや祖父母と同居のダブルケア、トリプルケア、マルチケアの可能性もあるお宅も多い。きょうだいがヤングケアラーになっている可能性もある。
- ・ 子どもが小さい、重度であるとの理由からコロナについて本人に説明していない(できていない)
- ・ 外出自粛や生活の変化で、本人の気持ちがケアできていない。
- ・ 障がいのある子どもの休校、事業所閉所により保護者が就労できなくなっている(所得保障されていない)
- ・ 休校や事業所閉所により福祉サービス利用もストップし、家族のみでの支援になっている。
- ・ 休校や学級閉鎖で学びが止まる。
- ・ 障がいのある人への対応を保健師だけがするわけではないので、情報更新や共有できていない。
- ・ 障がい特性により支援は違うので、障がいのある人向けの保健師が対応する相談窓口や対応窓口が欲しい。あまりにも担当者によって対応が違いすぎる。
- ・ 検査への合理的配慮(時間、場所、支援体制、検査方法選択等)をしてほしい。
- ・ 検査について本人にわかるよう説明できたり、サポートする要員が必要。
- ・ 家族の一人でも陽性になったら、家庭内感染が考えられるので様子見でなく早急に配食など支援体制を検討してほしい。特に子どもが先に陽性になった場合。
- ・ 自宅で隔離、療養が難しい人もいるので、宿泊療養等支援についても必ず説明してほしい。
- ・ 福祉サービスがストップすることで、ワンオペになりがち。
- ・ 連れていくことができないので買い物に行けない。
- ・ 施設入所や入院では、面会制限で本人の様子がわからない。
- ・ 親が高齢や自宅が遠いと、週末帰宅できず本人の様子がわからない。
- ・ 家族会や行事等、交流がなくなるので情報が入らない。

*本稿は、児玉真美編著(2022)、「コロナ禍で障害のある子をもつ親たちが体験していること」、120-122ページ、株式会社生活書院を引用させていただいたものです。

◇施設職員のPCR検査結果の報告

7/11(月)に検体採取したPCR検査の結果は、にじと風職員の全員が陰性でした。

◇ひよこの会の収益事業から

* 「ひよこの会」は、平成9(1997)年3月に発足、当初は施設建設が第一目標、資金集めに注力。平成11(1999)年7月 施設「にじと風」開所。運営費は全て利用者負担、フル利用の方は月10万円を超え、殆んどの方の負担は 月3~5万円。塾への支払いと思いましたが保護者の口癖でした。

* 次の第一目標は、施設運営費の捻出。

献品を募り、八千代市内に留まらず、伝手を求めて出店を、旭市、船橋市、千葉市、…と。

養護学校・保育園・幼稚園のバザー、地域のお祭り、フリーマーケット、…と。

秋には毎日曜日に、重なる日には三つの部隊がそれぞれの出店場所にとということもありました。

そんな中で、保護者のお母さん方同士の繋がりが形づくられていった。また同業出展者との繋がり、更にお客さんとの会話などから“楽しみ”を見出していました。

* 八千代市緑が丘の“イオンでの販売”、八千代台の“ユアエルムでの販売”は、売上げも期待できますが、コロナ禍を避けて出店を自粛しています。

現状の収益事業は、資源回収・きょうされん販売に限られています。

* 資源回収は、保護者の皆さん・地域の皆さんが収集して頂いた、古新聞・雑誌、段ボール、アルミ缶などを資源物としてお金にしています。

きょうされん販売は、きょうされん(旧称共同作業所全国連絡会)の夏、冬、バレンタインの販売事業に参画しています。

2022夏の販売活動に賛同して注文して頂いた、次の皆さん、ご協力ありがとうございました。

- ・ 特別支援学校や幼稚園、保育園の先生、保護者の方々
- ・ 地域のクリニックの先生、看護師、受付事務の方々
- ・ 市役所の担当課、関係センターの職員
- ・ 友誼福祉団体、施設の職員、利用者の方々
- ・ 取引先の会社の職員
- ・ 地域の賛同される皆さん
- ・ にじと風ボランティア
- ・ にじと風職員
- ・ ひよこの会会員



* 「八千代・遊・友・バザール」は、八千代市役所の駐車場で、毎月開催しているフリーマーケットですが、福祉団体以外の一般の参加もあり、とても賑やかです。

平成20(2008)年4月、それまで主催していた「障害者自立の会」から その運営を「ひよこの会」が引き継いだものです。

コロナ禍のため、令和2(2020)年7月に試行的に開催して以降、再開の目途が立っていません。

◇7月度収益事業の報告

no.	日時	収益事業	収入(円)	備考(担当など)
1	5/20(金)~	きょうされん2022夏販売	0	(商品お届け終了、精算待ち)
2	8/7日)	市役所フリマ	0	(新型コロナウイルスの影響を考慮し中止)
3	8/13(土)、9:00-10:00	資源回収	2,532	大野晃/玉岡浩美/荒木賢太

◇これからの予定

- ・ 8/27(土) 八千代心身障害児者父母の会(ひよこの会) 令和4年度通常総会
- ・ 8/30(火)、13:00-17:00 千葉県中核地域生活支援センター大会in2022(オンライン開催)
- ・ 9/3(土)、10:00-11:00 にじと風保護者会
- ・ 9/4(日) 市役所フリマ(八千代 遊・友・バザール) /⇒中止
- ・ 9/10(土)、9:00-10:00 資源回収

◇編集後記

コロナ禍の中、酷暑を経て、台風到来の季節を迎えます。皆様ご自愛下さい。(吉野^{康生}記)